



# つるがや たより

第23号

発行日平成24年 6月12日

群馬県伊勢崎市境百々421

医療法人鶴谷会鶴谷病院

広報委員会

## 新任医師の紹介

内科 水沼 寛代 (みずぬま ひろよ)

このたび平成24年4月より当院にて勤務することになりました水沼寛代です。

スタッフの皆さまには、いつも親切に声をかけていただき感謝しております。さて巷では、梅ちゃん先生が放送開始となり、視聴率も好調のようです。戦後の瓦礫の中で、後に女医となる梅ちゃん役の堀北真希ちゃんが「これからの時代は私にも何かできることがあるのかなあ。」ときらきらとした瞳で話すシーンには、この時代の女子学生達の思いに伝えられるような生き方を私はしているだろうか、とふと考えてしまいました。

前任地の群馬県立心臓血管センターは虚血、不整脈、心臓リハビリテーション、核医学など、循環器のあらゆる領域において、専門性の高い治療が成されており、それに触れることのできた3年間は非常に貴重な日々であったと思います。そして21世紀は重症心不全治療の時代と言われますが、心不全患者の治療に当たるとき必要なことは各領域の交差点に立てるかだということを教えていただいたと思います。

まだまだ慣れない日々が続いておりますが、私にも何かお役に立てることがあれば、と思います。どうぞよろしくお願いいたします。



昭和58年 栃木県宇都宮市出身

平成19年 獨協医科大学医学部卒業

平成21年 獨協医科大学越谷病院 初期臨床研修 修了

平成24年 群馬県立心臓血管センター 後期臨床研修 修了

平成24年 4月より当院で内科外来を担当。

外科 矢内 充洋 (やない みつひろ)

整形外科 飯塚 陽一 (いづか よういち)

一ノ瀬 剛 (いちのせ つよし)

小林 亮一 (こばやし りょういち)

西野目 昌宏 (にしのみ まさひろ)

無呼吸症候群外来 高間 典明 (たかま のりあき)

## 整形外科外来 土曜診療日の再開

前ページでお知らせしました整形外科の各先生方が、4月より土曜日の午前診療を順番で担当して行きます。各先生方は群馬大学に所属しておられ、第1土曜日を飯塚先生、第2土曜日を一ノ瀬先生、第3土曜日を小林先生、第5土曜日を西野目先生です。

第4土曜日についても、担当医師を確保したいと思っております、患者さまには、ご迷惑をおかけいたしておりますが、よろしく申し上げます。

## 無呼吸症候群外来を始めます。

昨今テレビなどメディアに取り上げられ、益々注目を浴びている睡眠呼吸障害（睡眠時無呼吸症候群）ですが、診断・治療が進歩しておりますが、その普及、並びに患者様QOL（生活の質）の向上を目的とし、当院においても睡眠時無呼吸症候群の診断と治療を積極的に進めていきたいと思っております。

5月19日（土曜日）午後、群馬大学の高間典明先生による、睡眠時無呼吸症候群外来を開始いたします。また、6月以降は毎月1回、第4週土曜日の11時から定期的に外来を行います。

人生の3分の1は睡眠に費やしていますが、睡眠時無呼吸症候群に罹患していると、良質な睡眠がとれず、日中の活動性や労働の質、運動能力などが低下することはもちろん、高血圧や虚血性心疾患、糖尿病などの生活習慣病を高率に合併し、生命予後に与えることが明らかです。良質な睡眠がとれず、お困りの方は是非一度診察をお受けいただけて見てはいかがでしょうか。

## 工事関連情報

旧外科、整形外科を内科6番8番、脳外科の診察室へ更新する工事が終わり、新しい内科6番、8番、脳外科の運用が5月28日から始まりました。

6月より南棟の解体工事が始まります。工事区域の囲いが済み次第解体となりますが、かなり大きな騒音、振動等が予想されますがご了承ください。

また、本館1Fの内科診察室の向かい側、相談室2の部分でコンビニの仮営業が5月24日始まりました。なお、現在の売店が5月末日で終了しました、長年のご愛顧に感謝申し上げます。

6月以降、大変ご迷惑をおかけすることとなりますが、よろしくお願いたします。

## 検査機器更新のお知らせ

### ・CAG（冠動脈造影装置）の更新

内科・循環器科の月岡大吾です。

先日まで工事中でご迷惑をお掛けしておりました心臓血管造影室ですが、工事が完了し5月10日より稼働を始めましたのでお知らせ致します。



この心臓血管造影検査というのは、心臓の周りを走行し心臓自体を栄養している冠動脈が、動脈硬化を起こしているのか、起こしていればどの位の程度なのか、一ヶ所だけなのか多数ヶ所なのかなどを、手首や肘、足の付け根から細い管を心臓まで送り込み冠動脈に造影剤を注入して評価する検査です。またその際、狭窄の程度を調べる為、血管内超音波検査やプレッシャーワイヤーといった動脈の圧の変化をみる機械で狭窄の生理的な程度を評価する事もできます。

また近年は冠動脈造影検査をだけでなく、狭窄部や閉塞部があればバルーン（風船）やステント（メッシュ状の金属の筒）で狭窄部や閉塞部を拡張する冠動脈形成術やステント留置術も施行しております。

今回導入された装置は、東芝のinfinix Celeve-I INFX-8000Vで、今までの装置より圧倒的に鮮明な画像が得られます。しかも被曝量は以前の装置より軽減しております。また画像が鮮明な為、検査時間の短縮も期待できる場所となっております。



虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞など）の方は年々増加しており（この原因には高齢化や高血圧、高脂血症、糖尿病、肥満、などの増加の影響もあります）、ますます重要になってくると思われれます。

胸痛、動悸等の症状があり心臓が心配な方、リスクファクター（高血圧、高脂血症、糖尿病、肥満、煙草など）の多い方は是非、内科外来で相談してみてください。

### ・CTの更新

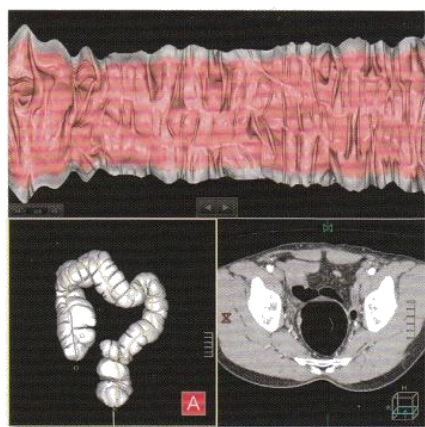
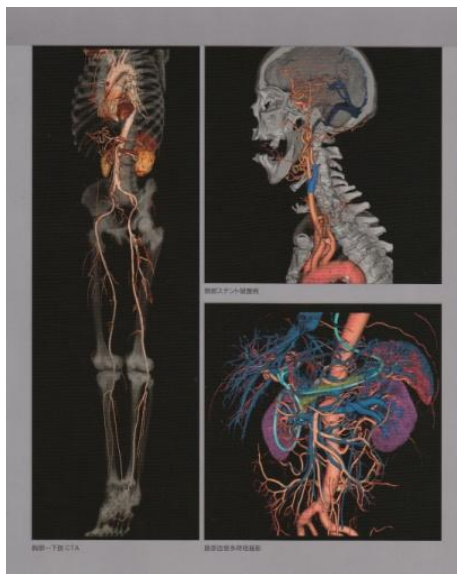
被ばくが低く、高速で高分解能撮影が可能な最新式80列マルチスライスCTを、平成24年3月より導入し稼働しております。

従来のCT装置に比べ大きく変わった点

- ・1回転で0.5mm×160スライスの高速・高画質撮影が行なえる



- ・最新の被ばく低減技術を採用
- ・大量の情報を処理し、画像の作成を行なうことが出来、様々な断面の画像や3D画像を得ることができるため、より正確な診断が可能となる。



### コロンビューイングソフトウェア

2体位表示を含めた大腸解析が行えます。

## 医師異動のお知らせ

松尾英世副院長が6月1日より、当法人の桑原医院院長に就任いたしました。鶴谷病院での勤務は金曜日午前中の訪問診療のみとなります。

また、桑原医院院長でした塩沢新治先生は5月31日をもって退職となりました。

#### 医療法人鶴谷会の理念

- ①人間愛を持って患者さんに接し、心のこもった医療・介護サービスにつくすこと。
  - ②日進月歩する医療・福祉に対して前向きに取り組み、“チームワーク”を大切にすること。
- これらをふまえ、質の高い医療・介護サービスを地域の方々に提供する。